会　議　録

会　議　名	令和８年度第１野田市国民健康保険運営協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	１　令和７年度野田市国民健康保険特別会計決算（案）について（公開） ２　令和８年度野田市国民健康保険特別会計補正予算（案）について（公開） ３　令和８年度の野田市国民健康保険運営協議会開催スケジュール等について（公開）
日　　時	令和８年８月24日（月）午後６時30分から午後７時30分まで
場　　所	市役所２階　中会議室１・２
出席委員氏名	会　長　小林　幸男　　会長職務代行者　有賀ヒメ子 委　員　木村　安雄　　委　員　藤井　敬子 委　員　山本　泉　　委　員　谷口　勲 委　員　児玉　雅仁　　委　員　飯塚　麻紀 委　員　稲富　佐斗子　　委　員　髙橋　早苗 委　員　中村　真由美　　委　員　永崎　克子
事　務　局	今村　繁（副市長） 池田　亜由美（市民生活部長） 金剛寺　弘之（国保年金課長） 西　信幸（収税課長） 秋鹿　　弥由紀　（保健センター長） 山形　好人（保健センター長補佐） 深町　雄也（収税課長補佐兼徴収二係長） 岡田　尚子（国保年金課課長補佐兼国保給付係長） 張替　亮（国保年金課保険料係長）
欠席委員氏名	寺田　一雄
傍　聴　者	３人
議　　事	

令和８年度第１回野田市国民健康保険運営協議会の会議結果は次のとおりである。

１　開会

国保年金課課長補佐兼国保給付係長

開会の言葉。本日は、委員12人出席のため、野田市国民健康保険条例施行規則第４条の規定により委員過半数の出席のため会議が成立することを報告。

会議録作成のため、本日の会議は録音させていただくことを了承いただくことを説明後、市では、野田市審議会等の会議に関する要項を定め、会議の原則公開などの運用を行っているが、この会議では、非公開とすべき議事、内容がないため公開とさせていただくことを報告。傍聴者は３人、途中からでも入室できる旨を説明

小林会長　開会宣言。会議録の署名は、会議録の署名人を議長から指名することになっているため、山本　泉委員及び稲富　佐斗子委員を会議録署名人に指名し、議事に入る旨を説明する。

２　議事

小林会長　議題１「令和７年度野田市国民健康保険特別会計決算案について」、事務局に説明を求めます。

〈国保年金課長から説明〉

小林会長　ただ今の事務局の説明に対し、御意見、御質問がありましたらお願いします。

山本委員　給付費が予算比べと3億5000万ほど減ったその要因について、被保険者数が減ることは予算の段階で想定できると思うが、実際、何の要因が大きいのか伺いたい。

小林会長　事務局、回答をお願いします。

国保給付係長　被保険者の減少については、予算の段階で過去の推移から算出していますが、一人当たりの医療費は年々増加する傾向があります。しかし、今回は0.1％しか上がらなかったことが要因と考えています。

山本委員　被保険者数の推移の中で、後期高齢者医療制度に移行する人数は分かると思いますが、社会保険の適用拡大に対する移行は算定できないとのことですか。

国保給付係長　予算の段階で、それまでの月々の被保険者数から想定される今後の推移については積算をしており、そこから想定される人数より減ったということもあります。しかし、最大の要因は、一人当たり医療費の伸び率が通常よりかなり低かったということが考えられます。

山本委員　わかりました。このことに関連して、今年から高額療養費の自己負担額が上がり今年度決算で影響が出てくるかと思いますが、そのあたりはどの程度見込まれて、どの程度影響するものかを教えてください。

国保給付係長　今回の高額療養費制度改正が国会を通ったのが、今年の４月くらいだったと思うので、予算の時点では見込めていません。また、今年度の見込みとしては、高額療養費の金額が改正されるのは８月からで、それを実際に市が支払うのは10月以降になります。その部分は多少減額されるとの考えもありますが、その代わりに年間外来合算など個人負担を落とそうという改正もあるので、もしかしたらそんなには下がらないのではないかと考え

ます。

山本委員　　そんなに影響は出ないということですか。

国保給付係長　この改正は２か年に渡って行われるもので、限度額は上げるけれども、年間で自己負担を下げるという法改正なので、仮に限度額部分で下がったとしても、年間外来合算などで増える可能性があります。

山本委員　　わかりました。

小林会長　　ほかに何かありますか。

山本委員　　資料７ページの特定検診のところで、男性と女性の受診率が、40代、50代はそんなに変化はないが、60代、70代になると男性の受診率が下がってきます。要因について、検証していますか。

小林会長　事務局、答弁お願いします。

保健センター長　この傾向は以前からあり、老人健法による基本健診のときからも同じような状況でした。女性の方よりも男性の方の受診率が低いという傾向で、男性は会社をリタイアされて国民健康保険に加入するからか、男性の受診率は低い傾向にあります。

山本委員　　わかりました。あと７ページに特定健診のデータヘルスの目標値は、これ毎年率を上げていって目標値を上げてきていますが、これは何らかの基準があってあげるものですか。いずれも達してないかと思いますが、財政交付金の金額にも影響があるのではないかと思われますが、ペナルティなどはありますか。

保健センター長　７ページ目に記載の受診率は、途中で加入した方も含めて、受診した方なので、実際に受けた方の受診率になります。データヘルスの数値は法定報告の数値で、途中の加入の方を抜くなど一定の条件を満たした方のみを入れますので、実際この令和６年31.33%ですが、これが法定報告になりますと32.4%に上がる形になります。データヘルスの目標はこちらを基準に設定しております。この令和６年35.3%にちょっと届いておりませんが、この数値に関しましては、野田市の現状を勘案しまして、少しずつ上げていきたいという形で目標設定させていただいております。

山本委員　　二つ目の質問の交付金に影響が出ないかについてはいかがでしょうか。

国保給付係長　保険者努力支援制度において、ペナルティではなく計画を策定していることによる加算、受診率が上がったことによる加算などの補助金があります。

小林会長　　よろしいですか。

国保年金課長　先ほど説明をさせていただいたグラフの数値の表示についてですが、高い数字よりも小さい数字が上に記載されているものが散見されています。数値に誤りはありませんが、グラフとして見づらいものになっていることをお詫びします。

小林会長　　よろしいですか。それでは他に御意見が、御意見等がないようですので「議題１令和７年度国民健康保険特別会計決算について」は事務局案のとおり承認するとしてよろしいでしょうか。

〈異議なしとの発言あり〉

小林会長　　御異議がないようですので、事務局の提案どおり承認致しました。
次に、議案第２「令和８年度野田市国民健康保険特別会計補正予算案について」、事務局、説明をお願いします。

〈国保年金課長から説明〉

小林会長　　委員の皆さんから御意見、御質問等あればお願い致します。

山本委員　　国庫支出金の28万5,000円、システム等整備費等補助金という名称ですが、中身としては、リーフレットの印刷代という御説明でした。この業務システムは確か将来的には国のガバメントクラウドに乗る形になっていると思いますが、そちらの方は現在どの様になっていますか。

小林会長　　事務局、答弁願います。

国保給付係長　標準化のことではないということですか。

山本委員　　標準化のことではないですが、標準化はされているのですか。

国保給付係長　標準化は終了しています。

山本委員　　標準化した後で、将来的に国のクラウド基盤を活用するという方向性をデジタル庁などが打ち出してきていると思いますが、そこまでの具体的な話になっていない感じですか。

国保給付係長　はい。

山本委員　　わかりました。

小林会長　　他にありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは他に御意見等ございませんので、議題２「令和８年度野田市国民健康保険特別会計補正予算案について」は事務局の案のとおり承認としてよろしいでしょうか。

〈異議なしとの発言あり〉

小林会長　　ありがとうございます。御異議がないようですので、事務局案のとおり承認することと致しました。次に議題３「令和８年度の野田市国民健康保険運営協議会開催スケジュールについて」事務局、説明をお願い致します。

〈国保年金課長から説明〉

小林会長　　今の説明について何か御質問等ありましたらお願い致します。よろしいですか。それでは議題３「令和７年度の市国民健康保険運営協議会開催スケジュールについて」は、事務局の原案のとおりとしてよろしいでしょうか。

〈異議なしとの発言あり〉

小林会長　　ありがとうございます。御異議がないようですので、本日の議題は全て終了いたしまし

た。委員の皆様には、円滑な議事ということで、御協力ありがとうございました。
その他、事務局から何かありますか。

国保年金課課長補佐兼国保給付係長
次回の運営協議会につきましては、令和８年12月下旬に開催予定となります。開催通知は11月に送付いたしますので、よろしくお願いいたします。
また冒頭の連絡事項につきまして、次回から時間を短縮し、より速やかに議事に移行するため次回より机の上に置かせていただくことになりますので、よろしくお願いいたします。

小林会長　冒頭の連絡事項については御了承願います。他に何かありますか。なければ本日は散会いたします。委員の皆様、大変お疲れ様でした。